

施策番号	2003		
施策名	歩いて楽しいくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」プロジェクト大作戦）		
概要	「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発を推進するとともに、歩いて楽しいくらしを大切にする動機付けのための情報や公共交通を利用する際に必要となる情報を、さまざまなメディアや機会などを通じて提供し、交通行動の振り返りや変更を働きかけ、ライフスタイルの転換を促す。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関係する主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

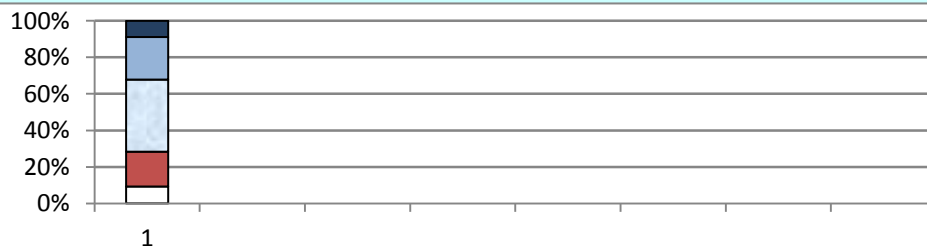
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	観光客公共交通利用割合(%)	-	-	79.1	78.5	79.1	99.2%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（くらし方、生き方）が大切にされている。	46	121	205	99	48	519	c
		8.9%	23.3%	39.5%	19.1%	9.2%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					24 年度	C
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						24 年度	C
(原因分析) ・客観指標評価については、観光パンフレットや公共交通機関における掲示などにより、積極的に啓発に努めた結果、目標をほぼ達成することができたため、b評価となった。 ・市民生活実感評価については、ライフスタイルの転換を図るため、市民や観光客の皆様に対して、公共交通マップの配布や、観光ガイドブックへの情報掲載などの活用により、公共交通利用促進を図る情報の提供などを行っているが、まだ十分に浸透しておらず、より浸透させるためには、継続的な取組が必要であることから、現時点では、c評価となったと考えられる。						23 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

今後も、ライフスタイルの転換をひとりひとりに促すため、「スローライフ京都」大作戦（プロジェクト）を継続して推進し、自らの行動を振り返り、行動をどのように変えるかを考えるきっかけとなる機会や情報の提供を様々な媒体を活用し、家庭、学校、職場や観光客などに向けて行うことにより、市民、観光客の皆様と一体となって過度な自動車利用の抑制を推進する。

施策名	2003	歩いて楽しくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」大作戦） プロジェクト
-----	------	--

指標名	観光客公共交通利用割合（％）
-----	----------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

京都市への入洛観光客が利用する交通手段に占める公共交通の割合

2 指標の意味

観光客の公共交通の利用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都観光総合調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	79.1	78.5	0.6ポイント減	79.1	平成23年度の調査開始以降の最高値以上をめざす	99.2%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	平成22年度までの観光調査年報から、平成23年度に京都観光総合調査に変更されたことに伴い、前年度数値との比較を行うため、今年度から評価を行っている。
----	--

5 評価基準

公共交通の利用割合について、単年度目標値の達成度が
a：100％以上
b：80％以上100％未満
c：60％以上80％未満
d：40％以上60％未満
e：40％未満

6 基準説明

最高値を100％とし、以下20％刻みで設定した。

7 評価結果

23	24	25
-	-	b